

第2期伊豆の国市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る評価書 (令和2年度実績時点の評価)

1 評価の方法

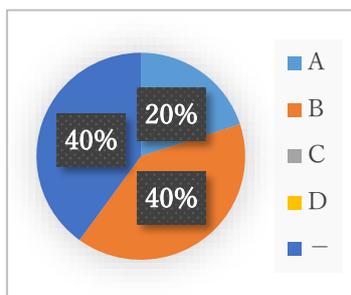
令和元年度に策定した「第2期伊豆の国市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の着実な推進を図るため、令和2年度実績時点の重要業績評価指標（KPI）による事務事業の内部評価及び検証を行った。

また、さらに客観的かつ公正な評価のため、令和3年10月11日(月)に開催された令和3年度第1回伊豆の国市総合計画審議会（様々な分野における有識者により構成）において、外部評価による意見聴取を行った。

2 基本目標ごとの重要業績評価指標（KPI）に対する評価及び検証

【基本目標1 伊豆の国市にしごとをつくる】

進捗状況		重要業績評価指標（KPI）
A	1項目	①市内製造業の製造品出荷額
B	2項目	④企業立地補助金を活用した企業数 ⑤創業塾を受けて起業した件数
C	0項目	—
D	0項目	—
—	2項目	②市内小売業の小売販売額 ③市内農家の農業産出額



(内部評価)

公表されている3指標については、令和2年度目標値以上の数値であるため、「概ね順調に進んでいる」と考えられる。

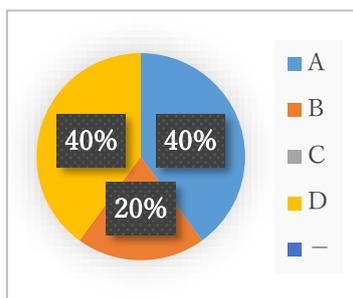
(外部評価)

内部評価に対する異議はなかったが、以下の意見があった。

- ・最重要課題は事業継承である。
- ・農業の課題は高齢化及び後継者の不足である。
- ・新規就農に向けた支援及び魅力の発信が必要である。
- ・市民が市の特産品の応援をできるような体制づくりが必要である。
- ・地元農産物と観光を結びつける仕組みがあればよい。
- ・園給食で地産地消を行うための仕組みが必要である。

【基本目標2 伊豆の国市に新しいひとの流れをつくる】

進捗状況		重要業績評価指標 (KPI)
A	2項目	②道の駅の来場者数 ③レンタサイクルの利用者数
B	1項目	⑤移住相談等を通じた移住者数
C	0項目	—
D	2項目	①観光交流客数 ④スポーツイベントの参加者数
—	0項目	—



(内部評価)

新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント等の開催を自粛していた。来訪者及び参加者が少ない状況であるが、多様な働き方の推進により、地方への移住に対する関心が高まっていることが追い風となっている指標もある。今後の状況によっては、「取組や指標を見直す」等、検

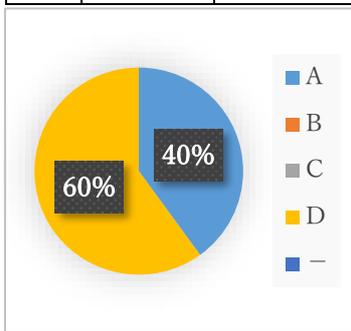
(外部評価)

内部評価に対する異議はなかったが、以下の意見があった。

- ・地元農産物と観光を結びつける仕組みがあればよい。
- ・スポーツを行うことで健康寿命の延伸に繋がる。
- ・大河ドラマも人の流れをつくるチャンスである。
- ・観光や移住など、ホームページ等による発信力の強化が必要である。

【基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる】

進捗状況		重要業績評価指標 (KPI)
A	2項目	③保育園待機児童数（4月1日時点） ⑤伊豆の国子育てモバイル登録者数（3月末時点）
B	0項目	—
C	0項目	—
D	3項目	①婚姻届出数 ②出生数 ④ファミリーサポートセンター事業利用者数
—	0項目	—



(内部評価)

既に令和6年度の目標を達成している指標と、基準値以下である指標に分かれている。結婚及び出産に対する支援について、効果が表れていないと読み取れる。「取組を見直す」等、検討が必要である。

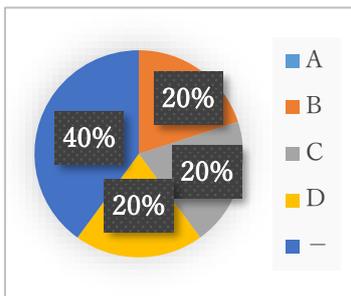
(外部評価)

内部評価に対する異議はなかったが、以下の意見があった。

- ・ 保育園及び幼稚園のこども園化を推進すべき。
- ・ 教育総合センターの設置が必要である。
- ・ 子育て世帯やひとり親の相談窓口として、地域で助け合えるお互い様の地域づくりの推進が必要である。
- ・ 子育てモバイルを活用した情報発信を強化すべき。
- ・ 数値目標には達しているが、現代ではスマホが普及している。子育てモバイルの登録者数の目標値が低い。
- ・ 子育て世代が参加できる仕組みづくりが必要である。
- ・ 近所の大人による子ども達への見守り体制の構築が必要である。
- ・ 子育て中の悩みを一元的に相談できる市窓口が欲しい。
- ・ 進学を機に市外へ転出した子どもたちを地元へ引き戻すための魅力発信の強化が必要である。
- ・ 結婚・出産支援と子育て環境の充実は一連かつ横断的に取り組むべき。
- ・ SNS を活用した子育て世代への情報発信が必要である。

【基本目標4 時代に合った住みよいまちをつくる】

進捗状況		重要業績評価指標 (KPI)
A	0項目	—
B	1項目	②お達者度 (女性)
C	1項目	①お達者度 (男性)
D	1項目	③生涯学習きっかけづくり塾参加者数
—	2項目	④「防災対策」の市民満足度 ⑤「防犯対策」の市民満足度



(内部評価)

進捗状況が分散された状況である。

生涯学習きっかけづくり塾参加者数については、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を自粛していたことにより、基準値以下となっている。「取組や指標を見直す」等、検討が必要である。

(外部評価)

内部評価に対する異議はなかったが、以下の意見があった。

- ・スポーツを行うことで健康寿命の延伸に繋がる。
- ・福祉や生涯学習など、横断的な取組みを行ってほしい。
- ・一人暮らしの高齢化が進んでいる。
- ・新型コロナウイルスによる自粛生活により、高齢者の認知機能及び身体機能の低下が懸念される。
- ・市民活動の拠点が必要である。